



もぎたて

サンスポーツ



★ サンスポーツ駒ヶ根 地域とつながった10years



障がい者スポーツ支援センター駒ヶ根「サンスポーツ駒ヶ根」は、開設20周年を迎えます。設立から10年は、プール事業を中心に展開してきましたが、その後は地域支援を柱にした事業に重きをおいて「より身近な地域へ、より地域に根差した活動へ」を目指してチャレンジしてきました。

プールでは、障がいのある方が家族、友人等と共にプールを利用できるように進めてきました。上伊那では、「スポーツクラブin上伊那」として、3つの市町村の体育館で障がいのある方のスポーツ活動を実施してきました。また、障害の有無に関わらず参加できる交流型事業「ふれあいウォーキング」は、センター最大イベントとして宮田村総合公園を借用させていただき規模を大幅に拡大できました。

下伊那では、「飯伊推進プロジェクト」として、「スポーツクラブin下伊那」を立ち上げ、多くの協力者と共にスポーツ・運動の機会を創出しました。

今後の10年は、繋がりをさらに深め、地域の皆様に頼りにされる存在として、共に地域のスポーツ環境づくりに励んでまいります。



祝 20周年

サンスポート駒ヶ根

長野県看護大学学長 大塚 眞理子

サンスポート駒ヶ根20周年おめでとうございます。

障がい者スポーツ支援センター「サンスポート駒ヶ根」様には、地域で暮らす障がい者の健康増進と社会参加促進の場として、2003年から本学の温水プールを活用していただいております。本学は県立の看護系単科大学として、市民の皆様の健康的で豊かな暮らしに貢献する役割がありますので、温水プール活用は大変ありがたいことです。この3年間は新型コロナウイルス感染症による行動制限がありましたが、感染症予防の徹底にご苦勞をされながら継続してこられました。アフターコロナとなり、プール開放の利用もコロナ禍前の盛況を取り戻していくものと思います。これまでの障がい者スポーツ支援の蓄積を生かし、さらなる発展を祈念しております。

サンスポート駒ヶ根サポートスタッフ

赤坂 俊夫、赤坂 路子

20周年おめでとうございます。

サンスポート駒ヶ根で、サポートスタッフとして10年間活動させていただいております。当初はどのようにすればいいのか不安でしたが、先ず自分が楽しもうと思ひ活動していると、次第に利用者さんと一緒に楽しめるようになりました。また、パラスポーツを知りその魅力にも触れることができました。これからも引き続き、活動させていただきますので、よろしくお願いいたします。

サンスポート駒ヶ根サポートスタッフ

水泳教室補助員 吉田 友紀子

20周年おめでとうございます。

日曜日の水泳教室に関わらせて頂きました。1番印象に残っている事は「親子」の深い関係性です。水泳を伝える立場ではありませんが、お子さんに向き合う親御さんの姿に私も子を持つ親として本当に勉強させて頂きました。そして年を重ねる毎に成長と一緒に感じさせて貰えた事もとても嬉しかったです。

教室後にスタッフの皆さんと長時間熱い話をした事も良い思い出です。

水泳サークルスマイルコーチ

倉澤美智恵、伊藤 百合、飯澤 美紀

以前練習していたプールが閉鎖となり、水に親しみ泳ぐことを楽しみにしていた私たちが途方に暮れていた中、サンスポート駒ヶ根を利用させて頂くことになりました。以前に比べ、広く深いプールに戸惑い涙目になってしまっていた子ども達も今では成人し、改めて時の流れを実感します。スタッフの皆さんのおかげで大好きな水泳を続けることができます。地域になくてはならない「サンスポート駒ヶ根」をこれからもよろしくお願い致します。

サンスポート駒ヶ根サポートスタッフ

駒ヶ根市教育委員会

子ども課課長 赤羽 知道

開所20周年おめでとうございます。

高校の先輩の北沢さんとの再会から始まった貴所とのご縁、これまで様々な事業に参加させていただく中で出会った利用者の方が、私の職場に見えた時「お元気ですか!」と素敵な笑顔で声を掛けてくれることが、とても嬉しく元気をいただく時で、貴所の事業に参加させていただく原動力でもあります。今後も利用者やスタッフの皆様の素敵な笑顔に会えることを楽しみに参加させていただきたいです。

指定多機能型児童発達支援施設しろくま

武井 弘江

水が怖い子、館内に響く声が苦手な子、車いすの子…どんなに入水が困難でも一緒に工夫を考えてくださり、しろくま開所から安心してお世話になっています。利用がきっかけで記録会への参加、地域のクラブへつながるお子さんもいます。また年代の違う他の利用者もおおり、更衣室での振る舞い、あいさつ等放デイだけでは経験できない社会のルール学んでいます。大人になった時、サン駒での経験は大きな財産になっているはずですよ。

サッカーチーム「南信レッドキッズ」

コーチ 前原 幸太

サンスポート駒ヶ根のサッカー教室から始まったレッドキッズも今年で8年目になりました。現在も伊那養護学校や小中の特別支援学級に通う子どもたちとその家族が月に2回、伊那養の体育館で汗を流しています。メンバーには、サンスポの水泳教室や地域の卓球教室に参加している子どもたちもいます。障害があってもなくてもスポーツを楽しむことの素晴らしさを地域に広げていく役割を、サンスポート駒ヶ根にはこれからも期待しています!

サンスポート駒ヶ根看護師 小松 美子

20周年おめでとうございます。

このイベント企画・施行までには、職員スタッフの皆さまには大変ご苦勞されましたことと思います。何事もなく20年を迎えられ喜ばしく感謝です。利用者様の人数も増し、登録者数18,000名にも達しつつあります。サンスポートの立派な支援が伺えます。10年記念の時は、団体クラブ様から頂いた記念樹も10年過ぎた今も大きく伸び、2個の鉢に植え替え、サンスポートの入口で見守っています。これからもサンスポートの増々の活動にYellを送ります。



つながる 広がる みんなの輪

みなみ信州レクリエーション倶楽部
会長 龍口 俊久

スポーツクラブin下伊那では飯伊地区のスポーツ推進委員がお手伝いをしています。当倶楽部の会員ほとんどがスポーツ推進委員関係で構成されていることもあり、関わる事となりました。囲碁ボールをしている時、「参加者の方々が強く打ち過ぎボールが出て行ってしまいますので何か考えて」と、吉田指導員から声を掛けられました。マットの周りに囲いを作り、クッションボールもうまく戻れるよう改良しました。モルックを紹介した時も皆さんと盛り上がる事ができて楽しかったです。

健和会病院 リハビリテーションセンター
理学療法士 宮島 恵樹

サンスポーツ駒ヶ根、20周年おめでとうございます。サンスポーツ駒ヶ根は、あきらめかけていた自分にとって一筋の光となり今では僚友です。他の地域にはない南信州ならではの障がい者スポーツ支援を一緒に作っていきましょう！

医療と障がい者スポーツの懸け橋となれるように微力ながら協力を約束いたします。

水泳サークルいなっこクラブ
佐藤 泉

私たち「いなっこクラブ」もサンスポーツ駒ヶ根と同じ年数を重ねて20年になります。メンバーも入れ替わりながら水泳記録会、ウォーキングにと沢山のイベントに参加し、また泳ぐことの楽しさを教えて頂きました。職員の方々の異動で慣れた方々との別れは寂しいこともありましたが、新しい職員との出会いもありました。前所長の関口一道さんがサンアップル在職時に「いなっこクラブメンバーをつれて行く」と声を掛けていただき、とても励みになり嬉しかったです。「いなっこクラブ」が出来てサンスポーツ駒ヶ根と一緒に歩いて来られたことに感謝します。

飯田市下久堅地区公民館長 三石 義弘

サンスポーツ駒ヶ根 20周年おめでとうございます。
私はスポーツ推進委員時代に、スポーツクラブin下伊那の活動に参加するようになりました。初めての活動で、障がいを持った人々の生き生きとした様子を目の当たりにし、この空間・この活動の大切さを肌で感じることができました。
クラブで特に印象に残っていることは、囲碁ボールを通じた交流です。スポーツ推進委員主催の大会にも参加して頂き、楽しい時間を過ごした事は今でも忘れません。
今後も可能な限り応援すると共に、地域でも活動していきたいと思っております。



20周年からこの先へ



柴山 裕司
(現サンアップル スポーツ専門員)

私が赴任したのは、平成18年になります。当時はプール事業を中心の活動でしたが、利用者も少なく色々手探りだった日々を思い出します。3年前、みたび赴任する機会をもらいます。20年からの利用者にもお会いでき、変わらない日常と変わった地域での役割を感じ、ずっと皆に思われている実感を得ました。今後も未永く皆様にとって必要な存在でいられるよう、関わる皆で盛り立てていければと思います。20周年おめでとうございます。

神田 (清水) 美沙
(現サンアップル 主任指導員)

サンスポーツ駒ケ根、20周年おめでとうございます。私は、1年2か月、サンスポーツ駒ケ根に勤務しました。南信地域のことは全くわからなかった私を、公私ともに温かく迎え入れていただき、仕事も、人としても学びを多く与えていただいた期間でした。私は、水泳記録会が印象に残った距離を計測したり、「ぴったリレー」と称し、目標に合わせたタイムに近いチームが勝つといった、交流の部があるイベントを通して、競技に参加できなかった方々も、こうした交流の部を通して、競技に繋がることを期待しています。これからも、みんなが集い、たくさんの笑顔があふれるサンスポーツ駒ケ根であることを願っています。

石村 祐輔
(現サンスポーツ佐久 主任指導員)

私がサンスポーツ駒ケ根に赴任したのは10年前の2013年、折しもサンスポーツ駒ケ根設立10周年記念の年でした。当時は南信地域のことはほとんど分からず、とにかく現場を知ろう、地域を知ろうと必死になってもがいていたことを思い出します。そういった過程の中で繋がった地域の方々や個性あるプール棟館内スタッフとともに、「チームサン駒」として、8年間活動できたことは私の一生の財産、宝物となっています。とにかく、温かく、居心地のよいところでした。これからの10年、サンスポーツ駒ケ根が地域とともに、どのような形へ発展、進化していくのか、楽しみに見守りたいと思っています。



サンスポーツ駒ケ根職員
左から加藤指導員、吉田主任指導員、小林指導員

長野県障がい者福祉センター所長 佐藤 靖

障がい者スポーツ支援センター「サンスポーツ駒ケ根」は、おかげさまで今年度、開所20周年を迎えます。開設当初は長野県看護大学のご協力のもと、大学内を主な活動の拠点としてプールをはじめ各種事業をスタートしました。10周年以降は、積極的に地域の体育施設等をお借りし、障がいのある方が、より身近なところで運動・スポーツができるよう、多くの地域とのつながりを深めてきました。各地域の行政機関や団体等に協力いただき、スポーツクラブは平成28年から上伊那地域に加え、下伊那地域での活動を開始、より幅広いニーズにお応えできるよう努めました。また、ふれあいウォーキングは地域で開催することで、より多くの協力を得られ、幅広い参加をいただいております。

これまでの皆様のご支援、ご協力に深く感謝申し上げますとともに、今後も地域のスポーツ拠点として「サンスポーツ駒ケ根」を築いてまいりますので更なるご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

障がい者スポーツ支援センター駒ケ根
サンスポーツ駒ケ根

〒399-4117 駒ケ根市赤穂1694

TEL&FAX 0265-82-2901

E-mail: ks2sport@mx2.avis.ne.jp

<http://w2.avis.ne.jp/~ks2sport>

サンスポーツ駒ケ根



検索

サンスポーツ駒ケ根で検索

